

【図書館／児童サービス】

●児童サービス事業一覧

事業名	趣旨・内容	対象者	開催日
あかちゃんと 絵本のひろば 場所： 会議室 1（～2023年12月まで） 視聴覚研修室（2024年1月～）	絵本と出会うきっかけをつくり、親子が本を媒介として触れ合うことの喜びと大切さを伝えることが目的である。 0歳児とその保護者を対象に、図書館司書がわらべうたや読み聞かせを行う「あかちゃんと絵本のひろば」を開催し、絵本や言葉のリズムの心地よさにふれてもらいたい。	0歳児と保護者	毎月第3金曜日
絵本とよちよち 1・2・3 場所： おはなしコーナー	絵本との出会い、読書のきっかけづくりの次の段階。 1歳から3歳児とその保護者を対象に、読み聞かせとわらべうたを行う「絵本とよちよち1・2・3」を開催し絵本や言葉の楽しさを親子で感じてもらう。	1～3歳児と保護者	毎月第2土曜日
本との素敵な出会い 場所： 児童閲覧室	一人では文化の館を訪れることのできない幼稚園・保育所（園）・こども園の園児を招待して、本に親しんでもらうことが目的である。 バスで文化の館を訪れて、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなど、地域のボランティアや図書館司書の熱意のこもったサービスに浸ることで、子ども達が心を震わせて、大人になっても消えない思い出を心の底に残してくれたらと願っている。	市内幼稚園、保育所（園）、こども園の年長児	各園の希望をもとに実施日決定
こどものつどい 場所： おはなしコーナー	地域のボランティアや図書館司書が、紙芝居・絵本の読み聞かせや工作、折紙を楽しむ参加自由のつどい。大人の語る言葉を耳で聞く楽しさを通して、言葉を好きになってもらい、楽しさを共有する体験をすることで、進んで読書を行う態度を養う。	幼児から小学校中級	毎週土曜日
ジュニア司書養成講座	図書館での本の探し方や仕組みを学び、図書館（司書）の仕事を体験してもらう。	市内 小4～6年生	
ブックトーク 場所： 各小中学校	小中学校に出向き、テーマに基づいて数冊の本を紹介する。読書への関心を喚起する。	小中学生	学校と相談の上、実施日決定
図書館司書の日 場所： 各小中学校	鯖江市のすべての小学校へ月に2回ずつ（中学校は不定期）訪問し、子どもたちに読書の楽しさや知ることの喜びを伝える。	小中学生	
（団体貸出） ちかもん文庫	小中学校に対して朝読用の本の貸し出しを行う。学校側からのリクエストを反映させた選書で利用度を高める（学校教育課所管）。	小中学生	
こどものつどい スペシャル 場所： 多目的ホール等	人形劇やワークショップなど、ふだんの「こどものつどい」ではできない鑑賞・体験事業を行い、図書館に親しんでもらう。	乳幼児から小学校中級	年に1～3回